

2017年3月期 第2四半期決算説明会

2016年 10月31日



日本ガイシ株式会社

NGK INSULATORS, LTD.



本日のプレゼンテーション

- 2017年3月期 第2四半期・通期業績見通し
- セグメント別情報
- 設備投資・減価償却費
- 中期イメージ・新製品・研究開発費
- 重点課題
- キャッシュフロー・総資産・配当

		(億円)	16年3月期	4月公表値	17年3月期	前年同期比
売上高			2,106	2,000	1,943	為替影響 △122 △8%
営業利益			413	330	343	△36 △17%
経常利益			403	320	324	△20%
親会社株主に帰属する 四半期純利益			275	220	217	△21%
換算レート	ドル		122円	(108円)	106円	△16円
	ユーロ		135円	(120円)	119円	△16円

前年同期比 減収・減益

- 電力関連 がいし、NAS®電池共に赤字。
- セラミックス 中国・欧州・米国市場の乗用車販売が堅調に推移しハニカム・センサーの需要が増加したものの、円高により減収。利益は物量増の効果や産プロの黒字化等により横ばい。
- エレクトロニクス 円高に加え、中国の携帯基地局の投資遅れによりパッケージの需要が弱く、減収・減益。
- 特別損失 固定資産減損損失32億円を計上。

(億円)		16年3月期	4月公表値	17年3月期	前期比
売上高		4,358	4,100	3,850	△12%
営業利益		809	600	540	△33%
経常利益		815	630	540	△34%
親会社株主に帰属する 当期純利益		533	440	330	△38%
換算レート	ドル	120円	(108円)	103円	△17円
	ユーロ	132円	(120円)	115円	△17円

前期比・4月見通し比 減収・減益の見通し

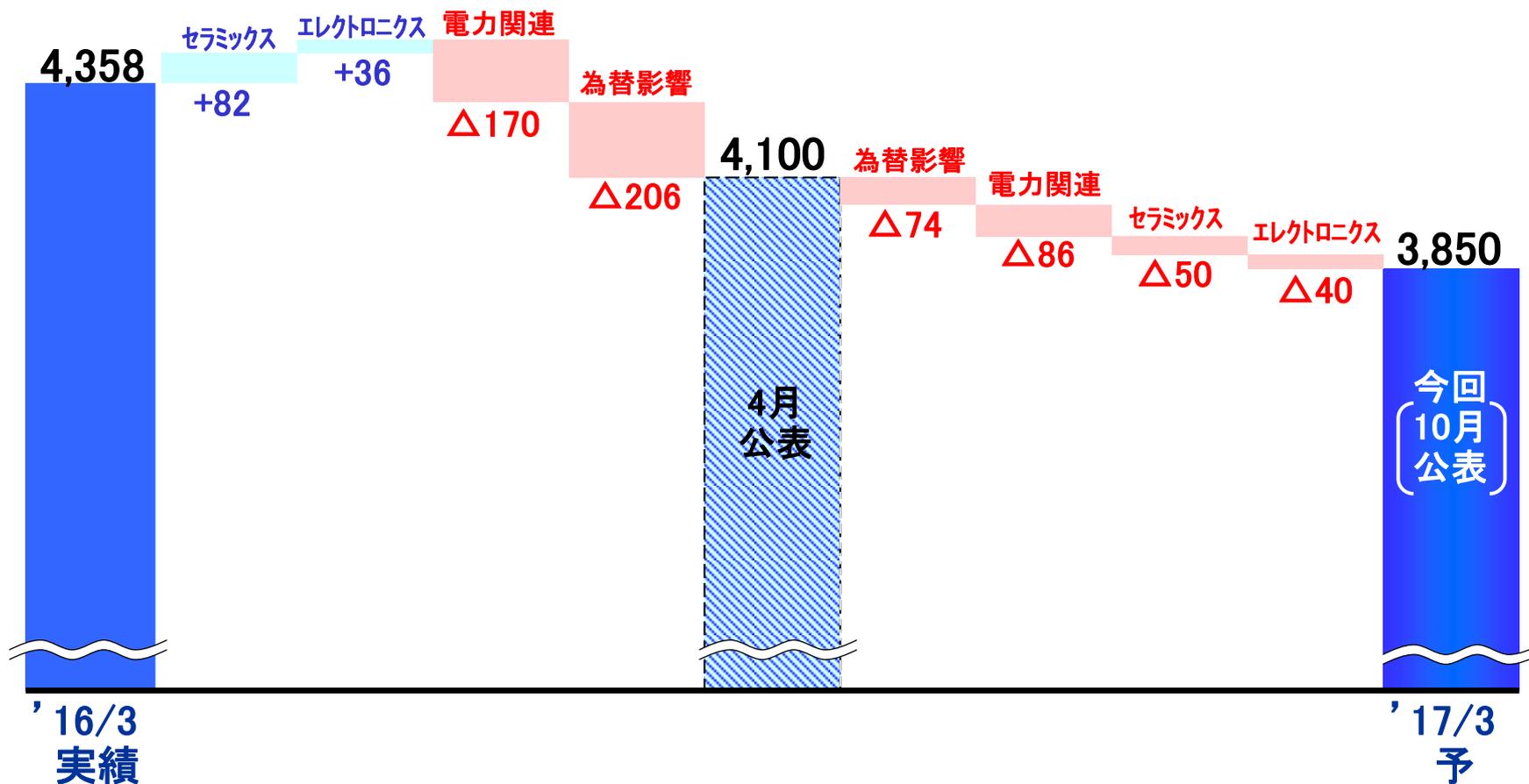
- 電力関連**

がいしは海外案件の一部が繰延べ、NAS®電池は出荷が低調で、当初想定を大幅に下回る見通し。
- セラミックス**

中国・欧州・米国市場の乗用車販売が引き続き好調で、ハニカムを中心に堅調に推移する見通し。売上高は、円高により4月見通し比で減収。
- エレクトロニクス**

半導体製造装置用セラミックス製品が好調な一方、円高やパッケージの需要回復遅れが影響し、減収・減益。

(億円)

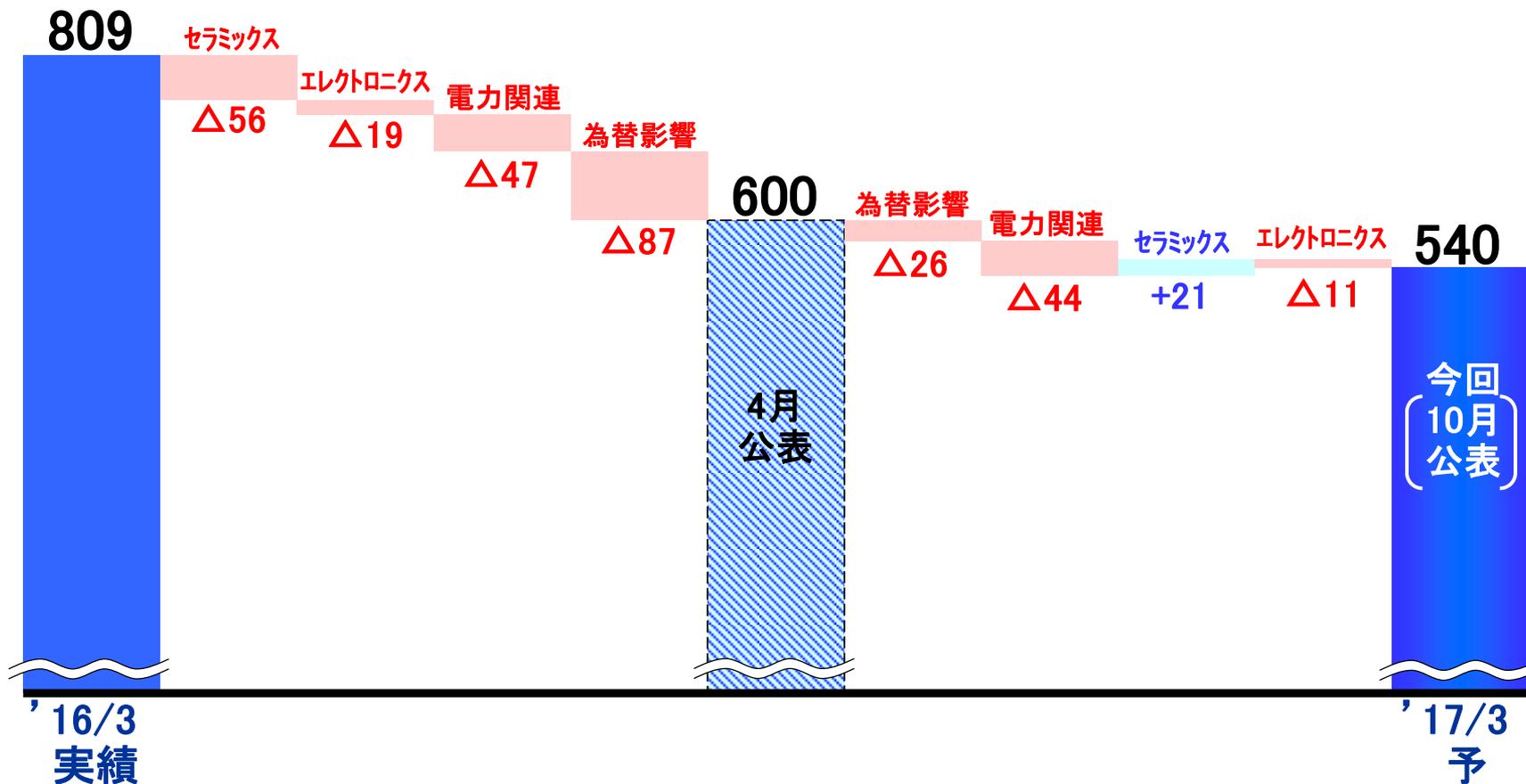


為替レート 前期('16/3)
120円/USD
132円/EUR

4月公表('17/3)
108円/USD
120円/EUR

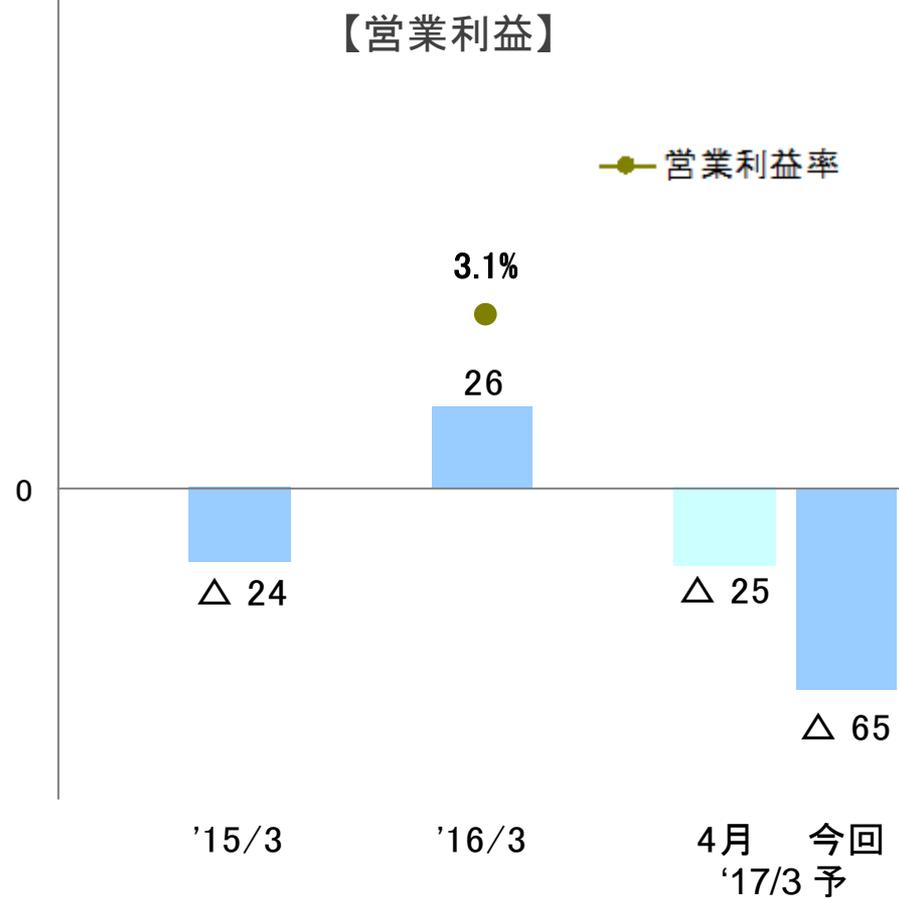
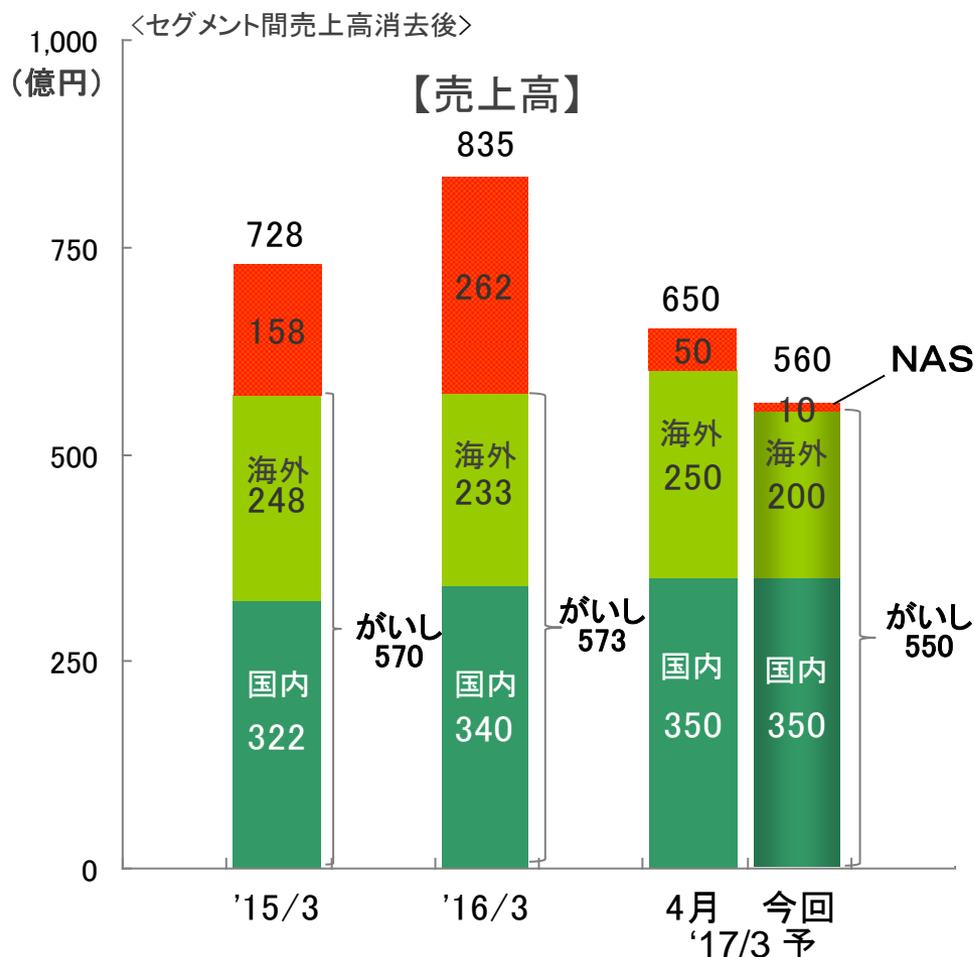
今回('17/3)
103円/USD
115円/EUR

(億円)

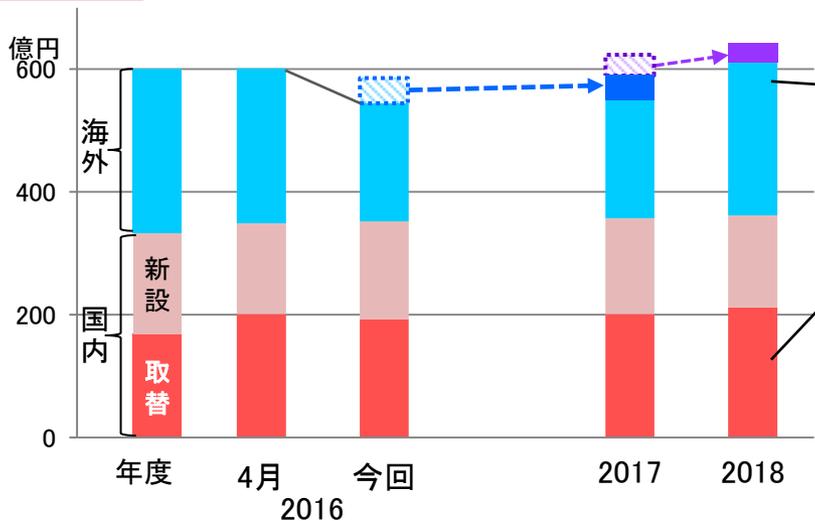


為替レート	前期('16/3)	4月公表('17/3)	今回('17/3)
	120円/USD	108円/USD	103円/USD
	132円/EUR	120円/EUR	115円/EUR

- がいし・アジア・中近東の大口案件の遅れや北米の需要低迷により、赤字に転じる見通し。
 - ・国内取替需要の喚起を継続すると共に、需要変動に対応できる生産体制を構築する。
- NAS
 - ・国内外の案件が遅れており、赤字が拡大する見通し。
 - ・NAS電池が得意とする長時間用途での需要は未だ限定的。当面は需要が低迷する見込み。事業運営体制をスリム化し、赤字を最小化する。



■がいし 海外案件は来期以降へ繰延べ。国内取替需要は堅調に推移。



海外：原油安に伴う資金不足等を背景に、アジア・中近東の大口径案件の一部に遅れが生じている。

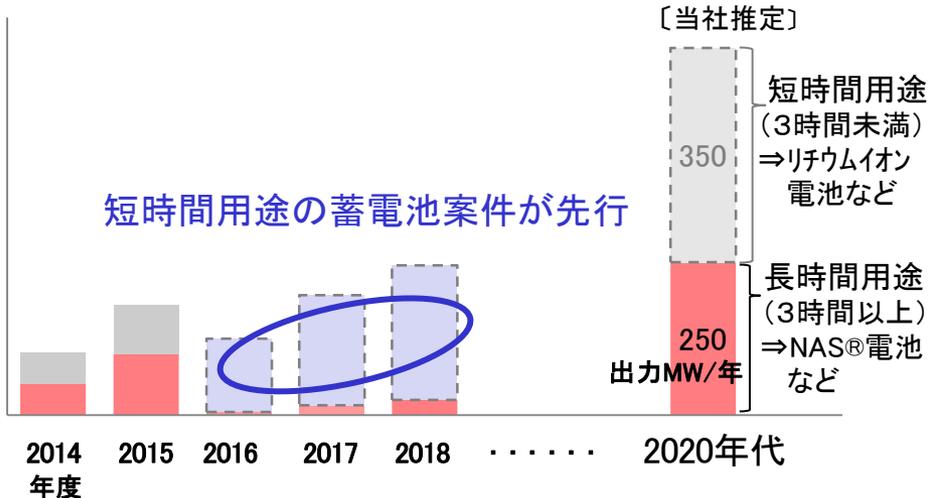
国内：高度経済成長期以降に設置したがいしの取替需要は堅調に推移。



- ・国内取替需要の喚起、取り込み
- ・需要変動に対応した効率的な生産体制の構築

■NAS®電池 長時間用途の需要は当面低調に推移。

<大型蓄電池の世界市場規模(イメージ)>



・再生可能エネルギー導入拡大で蓄電池需要は増加も、リチウムイオン電池など短時間用途の案件が先行する。



- ・当面の低操業に備え事業運営をスリム化
- ・地域毎のローカルパートナーと協働し需要獲得を目指す

● **電子部品**

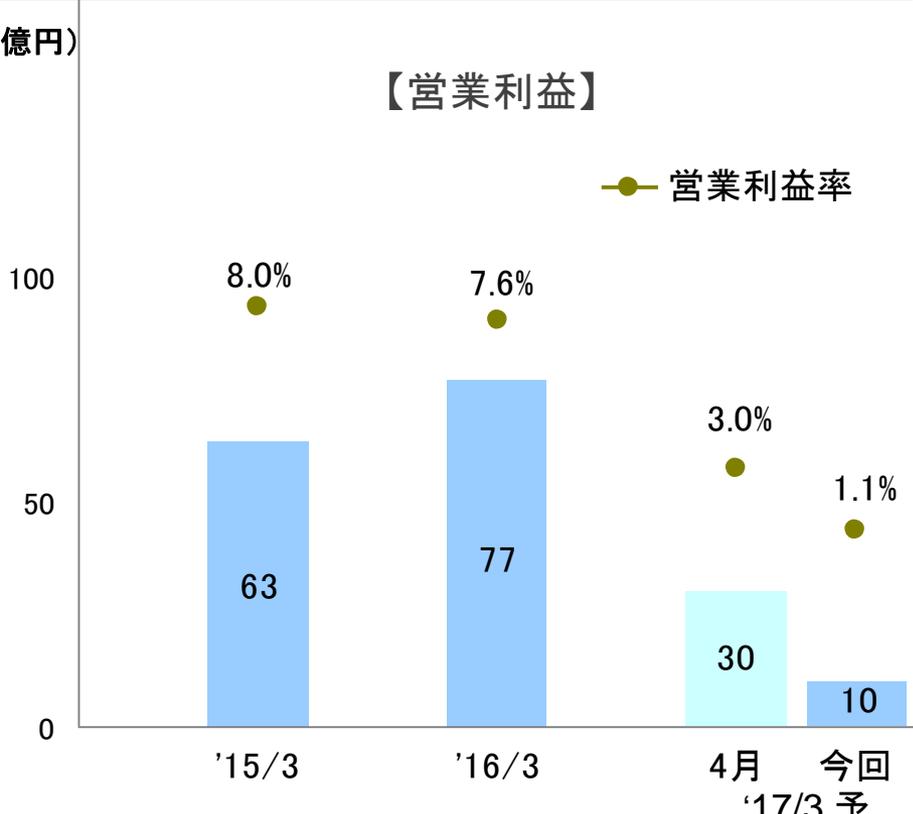
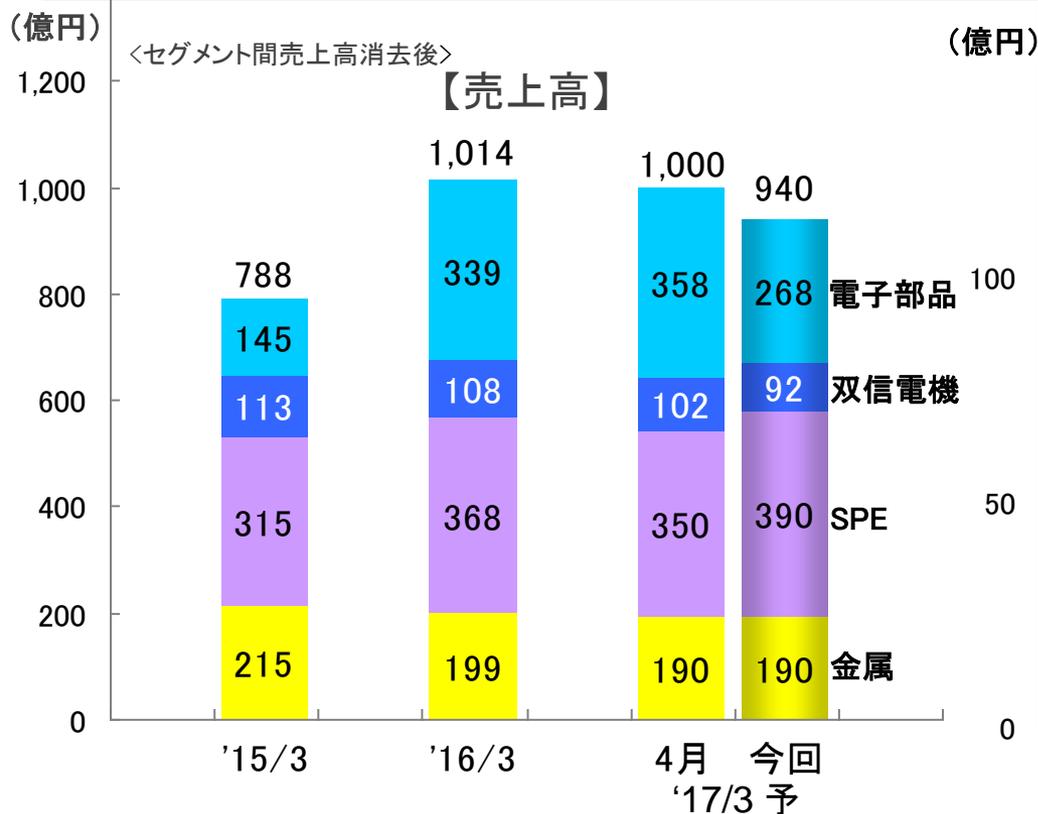
- ・中国の携帯基地局の投資遅れにより、パッケージの需要回復が遅れている。
- ・着実にコストダウンを達成し、収益回復を目指す。

● **半導体製造装置用セラミックス(SPE)**

- ・データセンター向け半導体の需要増を背景に、半導体メーカーの高積層化投資が高水準で継続し需要増。
- ・需要増に対応し増産投資を前倒して実施する。

● **金属**

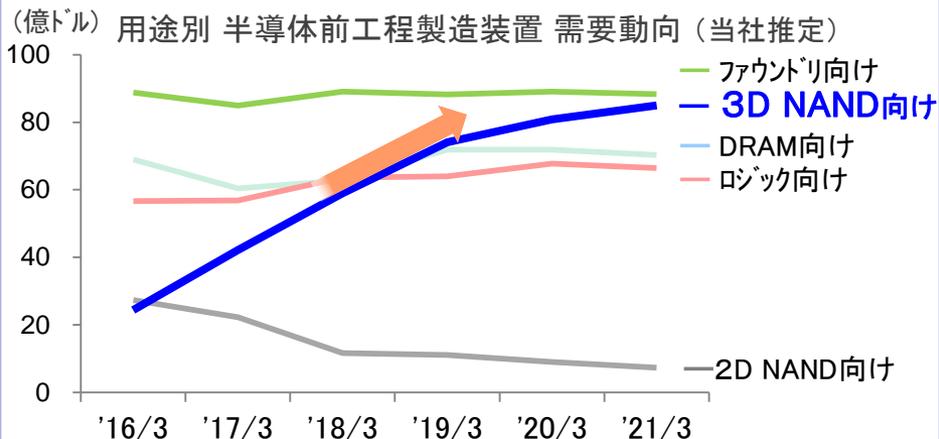
- ・足許の需要は回復基調。新材料や新用途品の開発を促進し事業拡大を目指す。



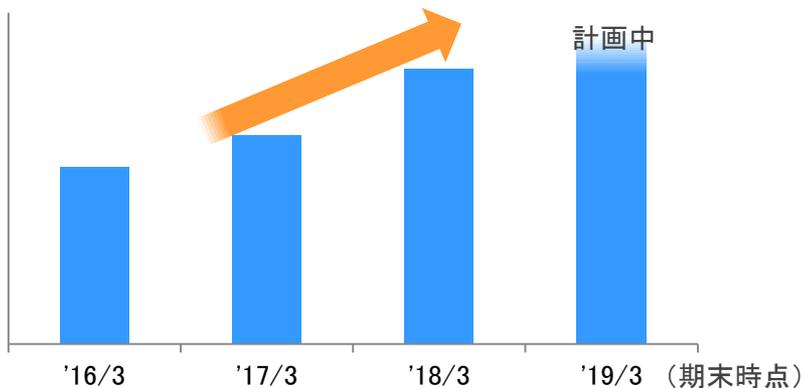
■半導体製造装置用セラミックス製品



モバイル機器やデータサーバーなどの記憶装置需要が旺盛で3D-NAND関連の投資が拡大。半導体製造装置の需要は増加する見通し。



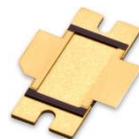
当社 半導体製造装置用セラミックス製品 生産能力



増産投資を積極的に実施し需要増を確実に取込む

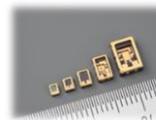
■パッケージ製品(電子部品)

RF(高周波)パッケージ



- ・中国の携帯基地局インフラ投資が遅れ、一時的に流通在庫の調整局面を迎えている。
- ・中期的にはLTE普及に伴い新興国でもインフラ整備が進み、需要が堅調に推移する見通し。

水晶パッケージ



- ・スマートフォン市場全体は伸び悩むものの、高機能品の増加を背景に需要が拡大する見通し。

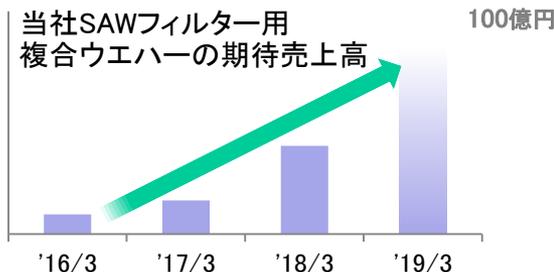
既存事業の収益力強化と
新製品開発を加速し事業領域の拡大を図る。

■ウエハー製品(電子部品)

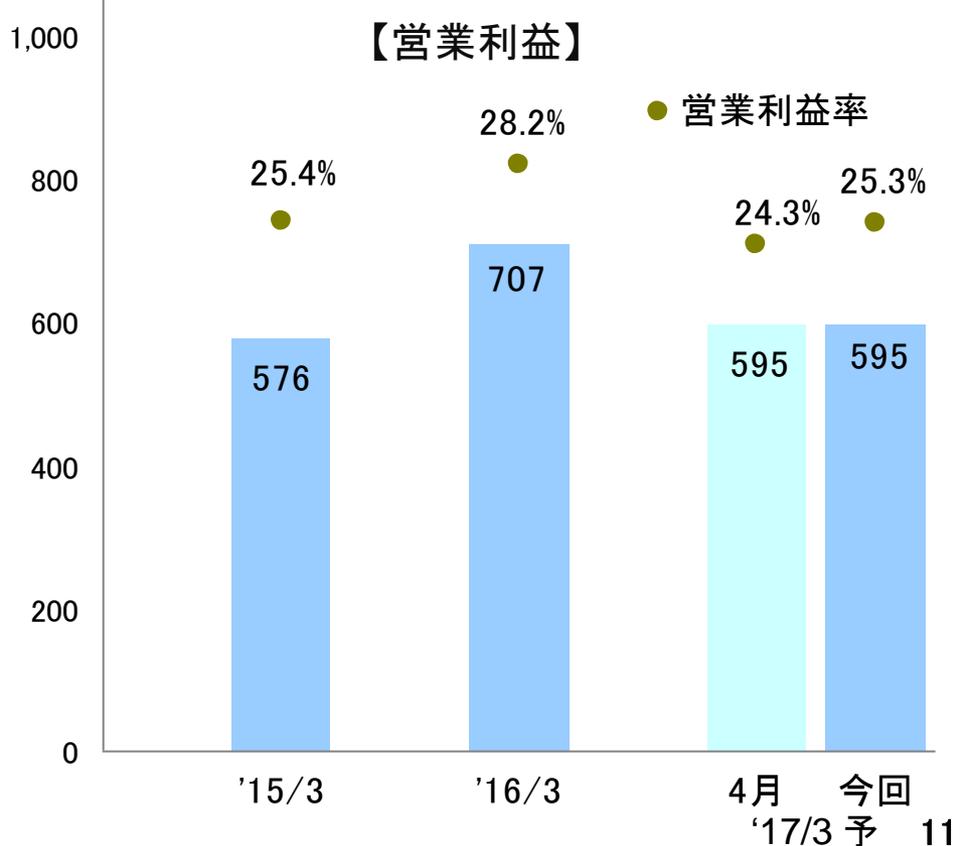
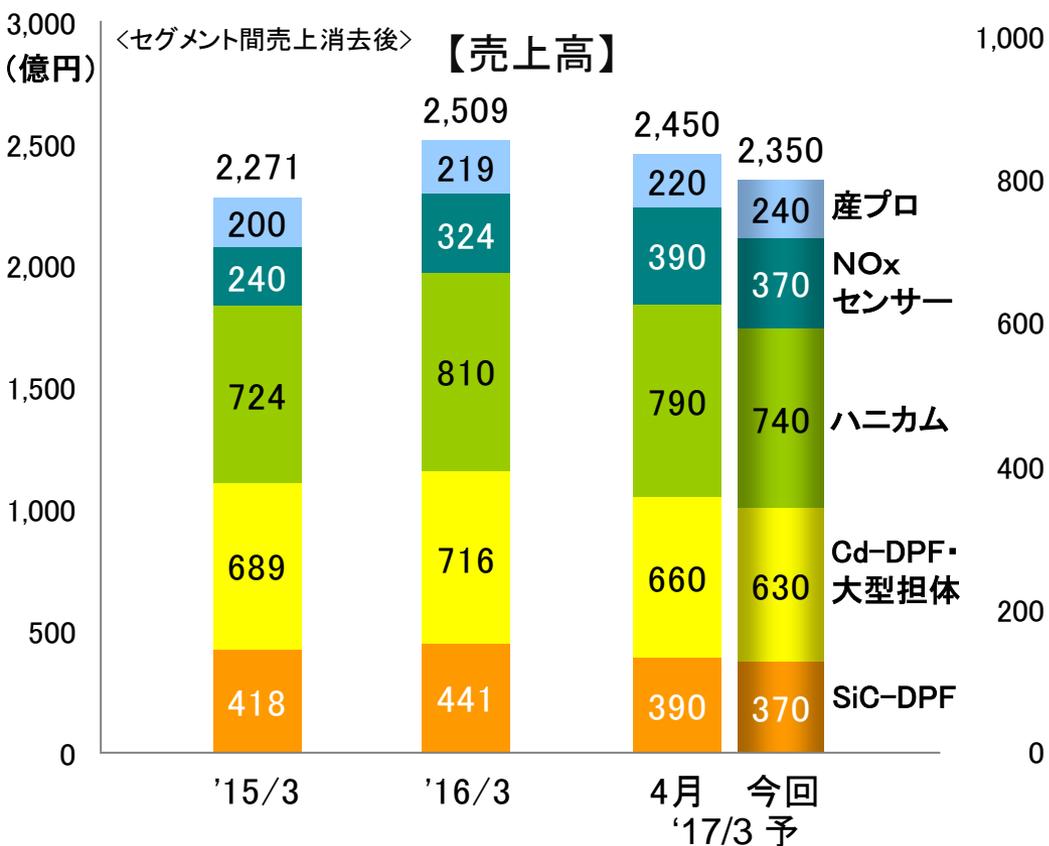


SAWフィルター用複合ウエハー

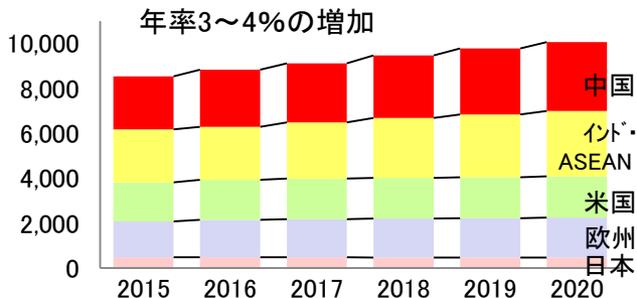
- ・モバイル通信の高速・大容量化により多バンド化が進み、高性能SAWフィルター用に当社複合ウエハーの需要が増加する見込み。
- ・増産投資を前倒しで実施する。



- 自動車関連
 - ・中国・欧州・米国市場で乗用車販売が引き続き好調で、ハニカムの需要が増加。
 - ・中国・欧州市場でトラック販売が当初見込み通り推移し、大型担体・Cd-DPFの需要も堅調。
 - ・NOxセンサーは排ガス規制適用拡大により引き続き需要が堅調に推移する見通し。
 - ・中長期では、世界的に排ガス規制強化のトレンドが継続し事業が拡大する見通し。
引き続きグローバル生産体制の構築に注力する。
- 産業プロセス
 - ・国内・中国の客先でリチウムイオン電池関連の投資が続き、窯系列が好調で増収・増益。



■乗用車販売台数推移(万台)



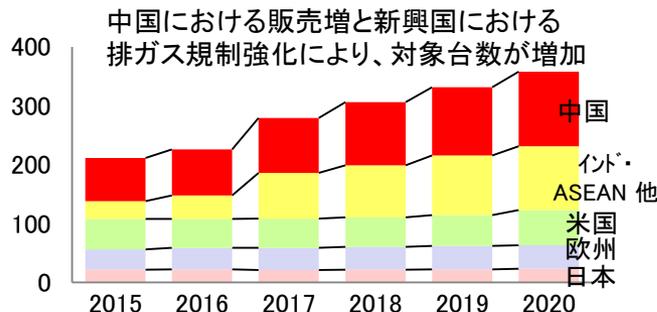
<製品別総需要見通し>

■乗用車向け

ハニカム, GPF, SiC-DPF

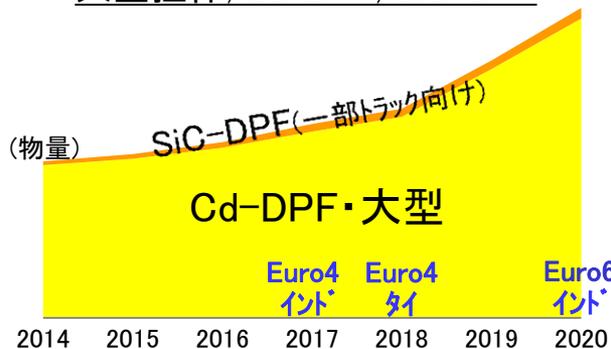


■トラック後処理対象台数推移(万台)

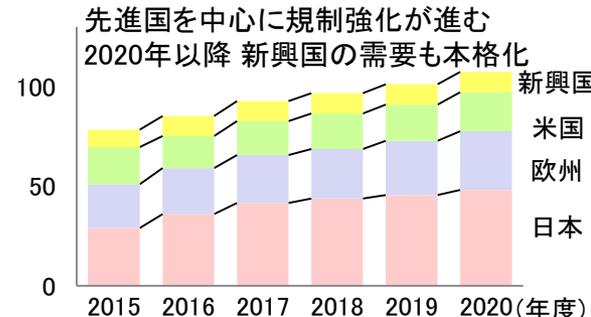


■トラック・オフロード車向け

大型担体, Cd-DPF, SiC-DPF

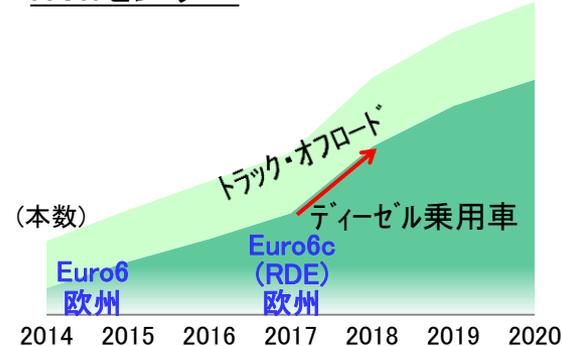


■オフロード後処理対象台数推移(万台)

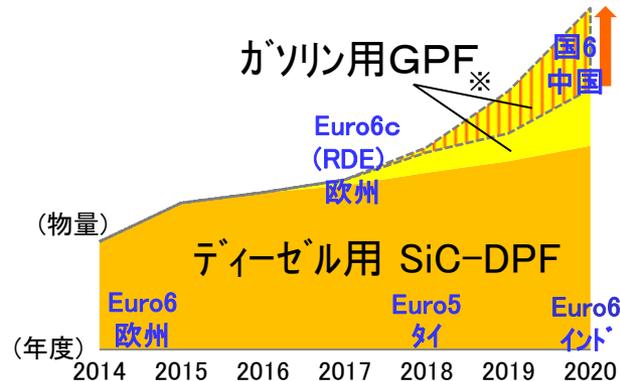


■ディーゼル乗用車・トラック・オフロード向け

NOxセンサー



ガソリン用GPF

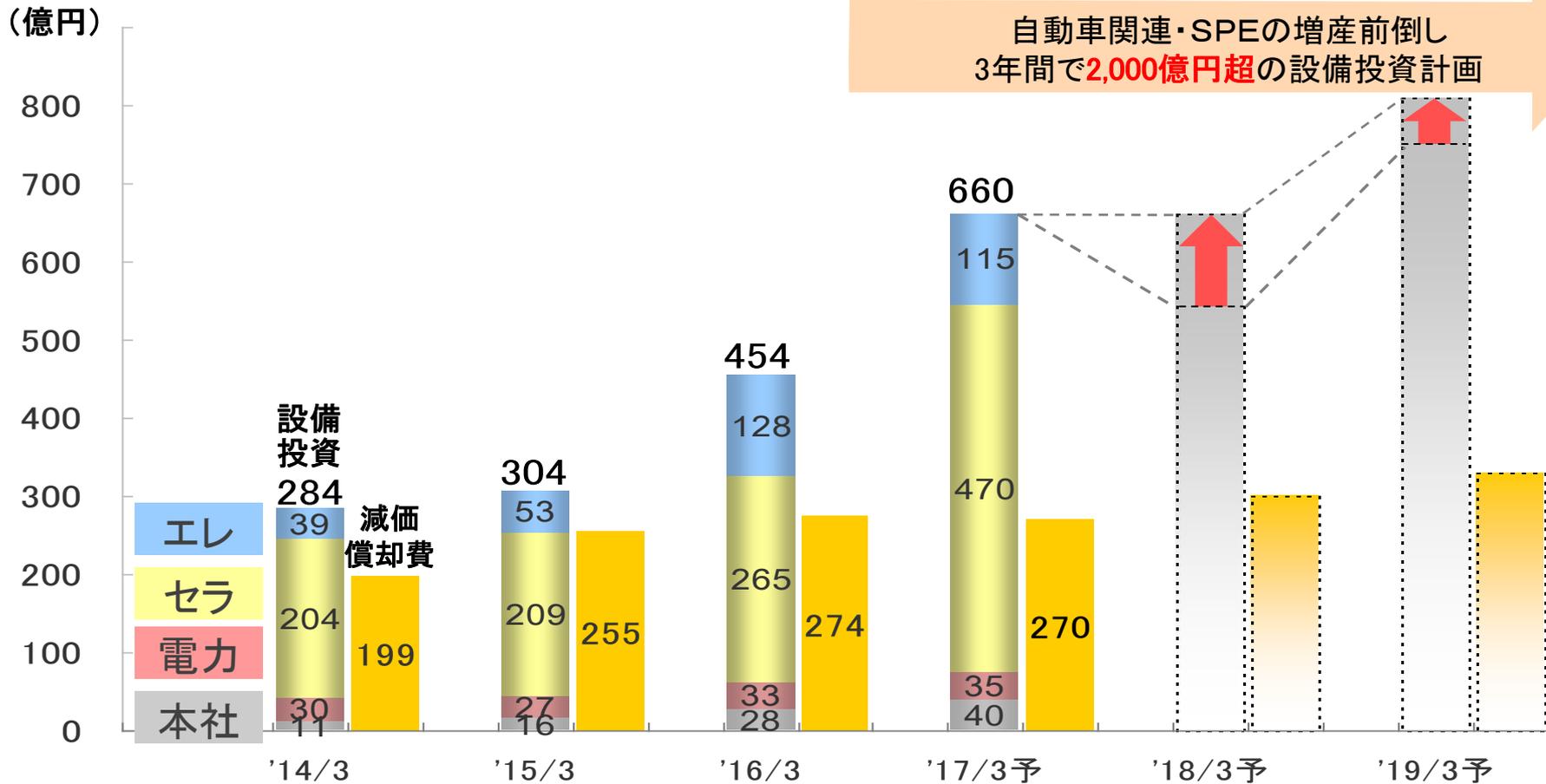


・欧州で新規規制RDE(実走行条件時の排ガス規制)やPN(PMの粒子数)規制が導入され、2018年頃よりGPFやNOxセンサーの需要が増加する見通し。

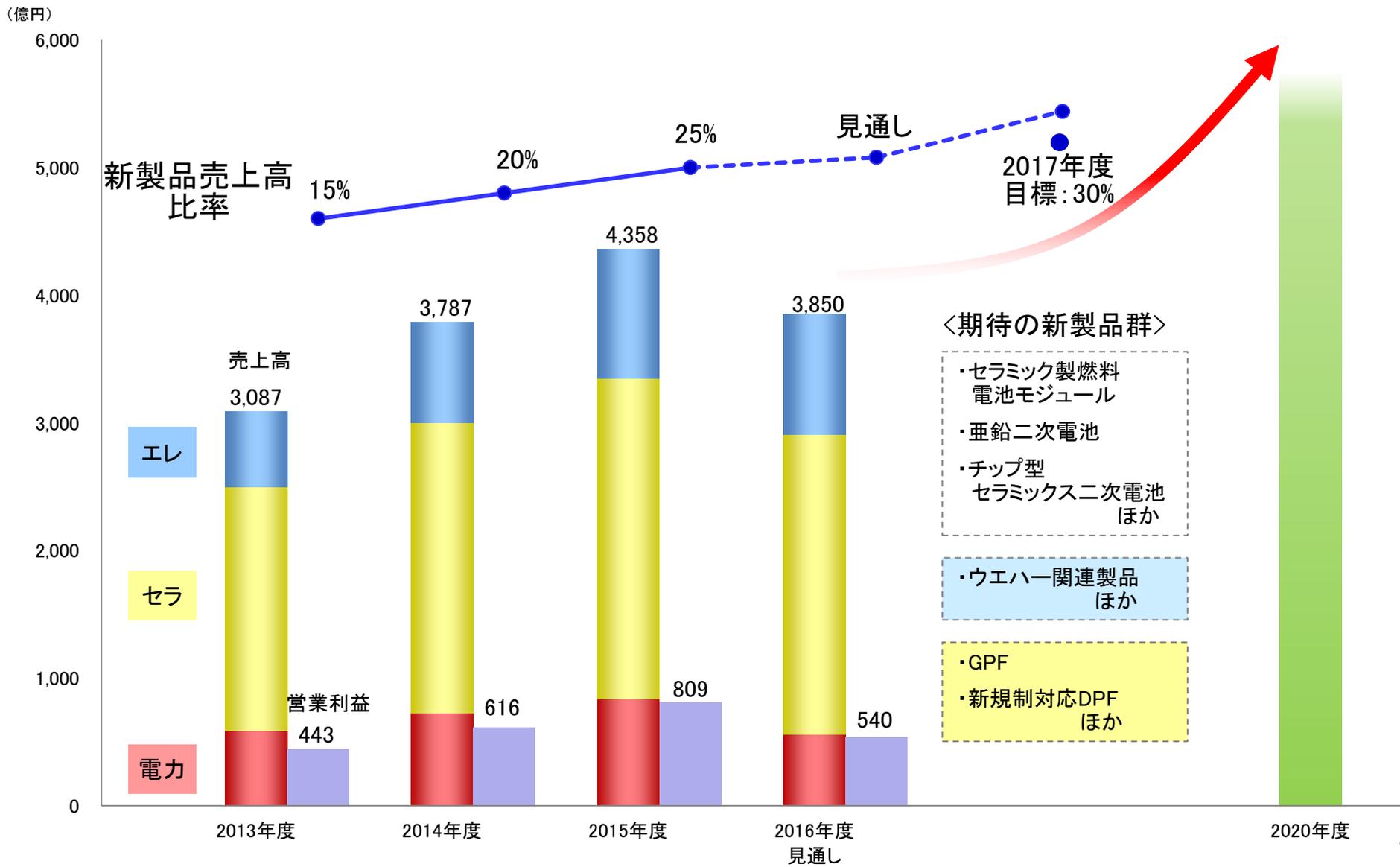
・中国 国6規制の2020年への前倒し・厳格化によりGPFが搭載され、GPFの需要はさらに増加する見込み。



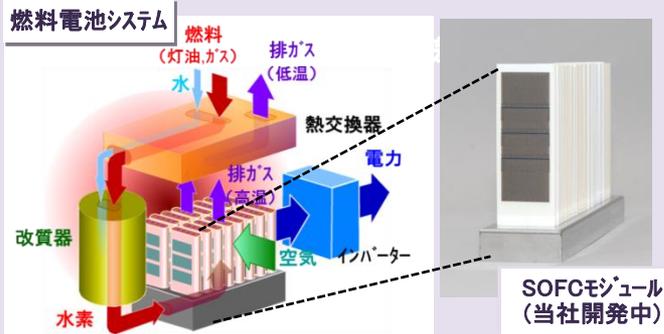
新興国で排ガス規制強化の前倒し・厳格化が進む中、
中国工場のハニカム増産、**GPF量産**を決定。他拠点でも更なる能力増強を進める。



- ・2017年度に新製品売上高30%を達成できる見通し。
- ・既存品強化や新製品の早期事業化に取り組み、持続的な成長を図る。



セラミック製燃料電池モジュール (固体酸化物形燃料電池(SOFC)モジュール)



- ・独自構造と独自セラミック材料によりコンパクト性と高効率・高耐久性を両立させたセラミック製発電部品

亜鉛二次電池



- ・独自のOH⁻イオン伝導性セラミックスをセパレーターに用いた高容量蓄電池
- ・水系電解液を使うため安全性が高く、設置場所の自由度が高い

チップ型セラミックス二次電池



- ・独自の結晶配向技術を用いた超薄型、高エネルギー密度で高温動作可能な全固体電池

戸建ておよびマンション用
次世代燃料電池システム向け

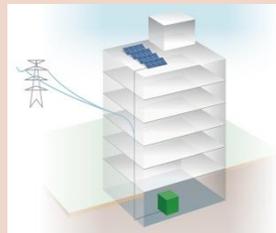


- ・大手燃料電池メーカーで評価中

家庭用蓄電池
(10kWh級)



屋内設置型蓄電池
(500kWh級)
ビル・病院・商業施設等



- ・2017年度商品化を目標に長期耐久評価中

ウェアラブルデバイス



IoTモジュール



スマートカード



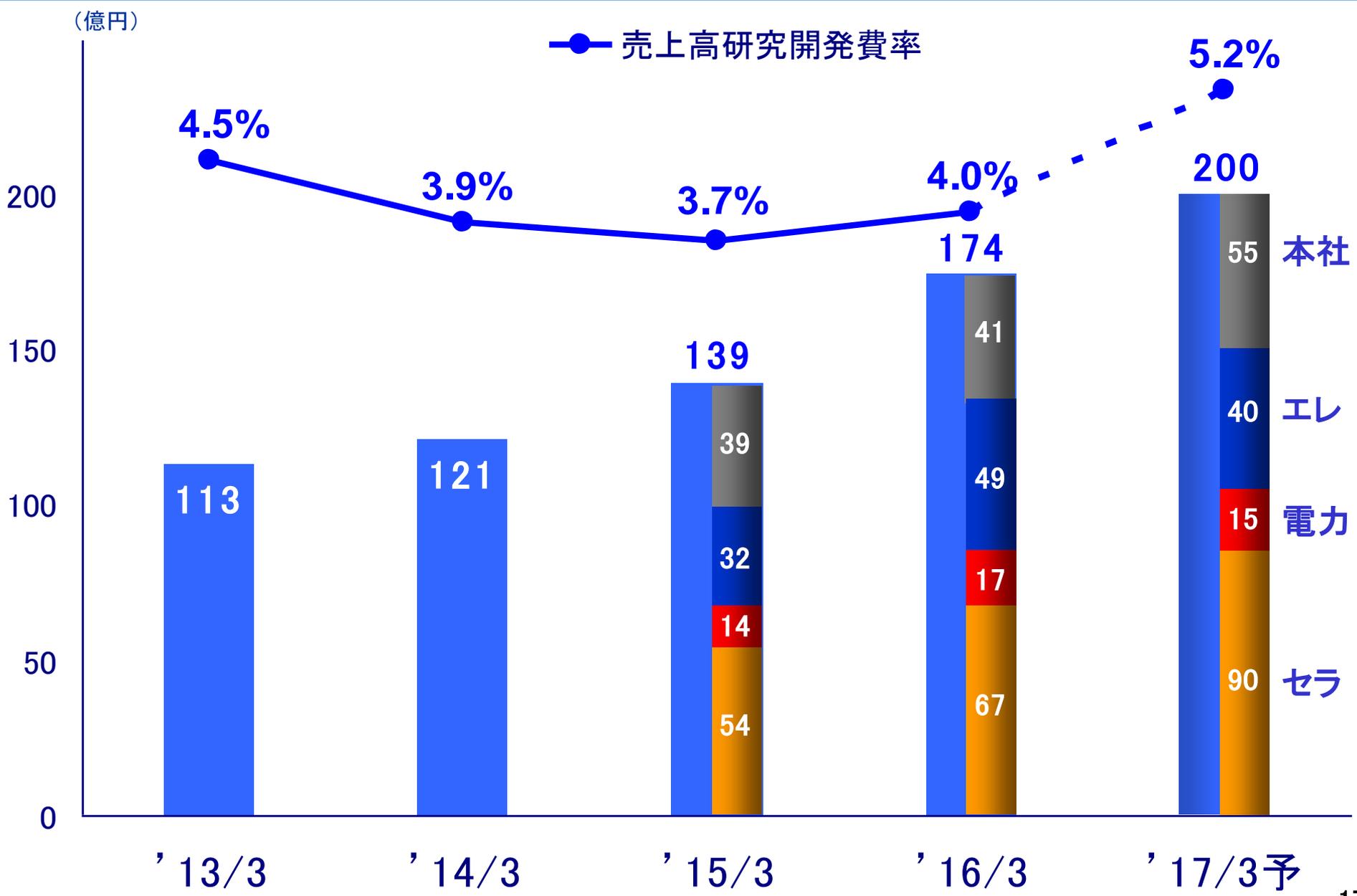
オンボードマイコン電源

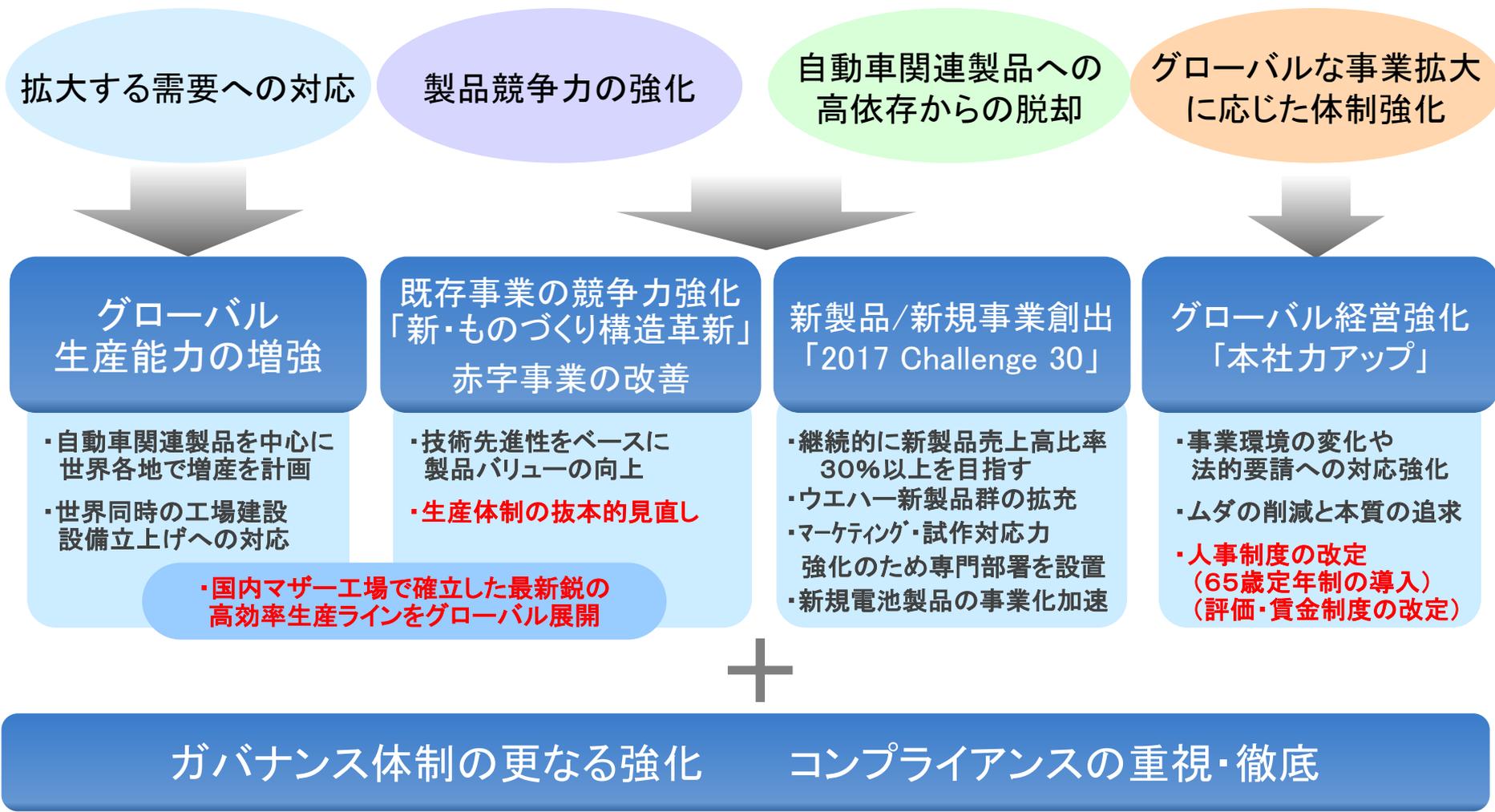


- ・10社以上でサンプル評価中
- ・安全規格 IEC62133 認証取得済み

全社横断組織「セラミックス電池プロジェクト」(4月発足)で活動中

研究開発費

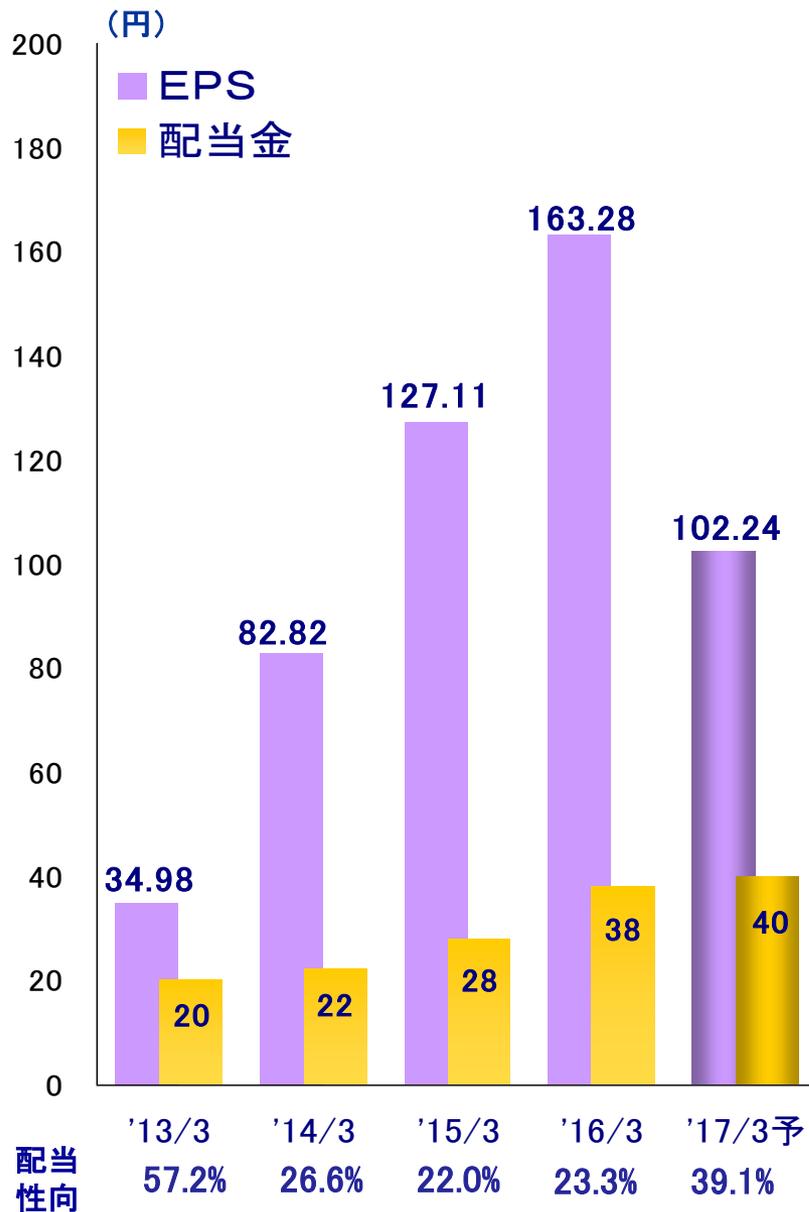
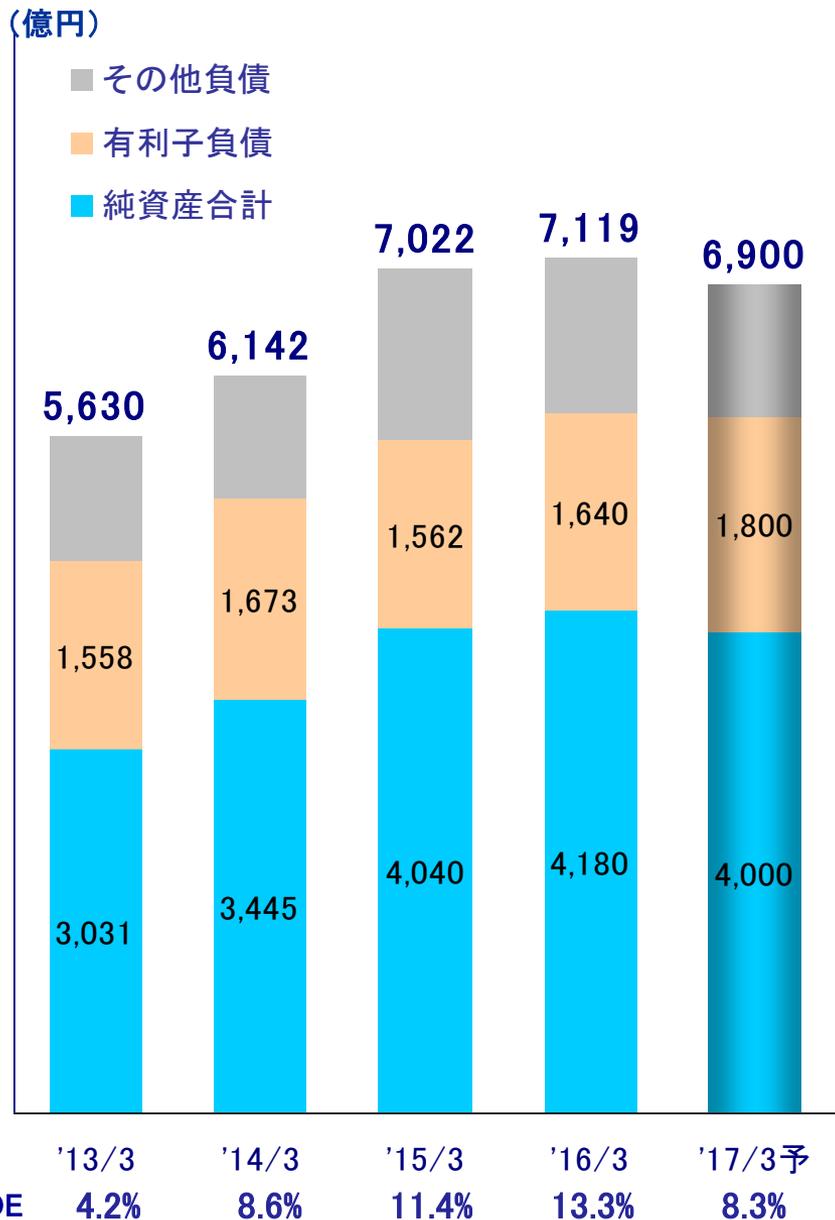




世界に通用する真のグローバル企業を目指す

(億円)

	'15/3	'16/3	'17/3予
営業活動によるキャッシュ・フロー	730	594	620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△395	△478	△590
財務活動によるキャッシュ・フロー	△260 新規借入 +57 返済 △219	△4 新規借入 +168 返済 △67	△50 新規借入 +350 返済 △190 自己株買付 △112
現金及び現金同等物に係る換算差額等	13	△39	△80
現金及び現金同等物の増減	88	74	△100
現金及び現金同等物期末残高	1,286	1,361	1,261



<セグメント間売上消去後>

(億円)

	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期
が い し	539	570	573	550
N A S	51	158	262	10
電 力 関 連 合 計	590	728	835	560
ハ ニ カ ム	651	724	810	740
S i C - D P F	376	418	441	370
Cd-DPF・大型ハニカム	518	689	716	630
セ ン サ ー	164	240	324	370
産 業 プ ロ セ ス	199	200	219	240
セ ラ ミ ッ ク ス 合 計	1,908	2,271	2,509	2,350
金 属	186	215	199	190
半 導 体 製 造 装 置 セ ラ ミ ッ ク ス	243	315	368	390
電 子 部 品	48	145	339	268
双 信 電 機	112	113	108	92
エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス 合 計	589	788	1,014	940
全 社 合 計	3,087	3,787	4,358	3,850

<セグメント間売上消去後>

(億円)

	16年3月期		17年3月期	
	上期	下期	上期	下期
が い し	279	294	260	290
N A S	59	203	4	6
電力関連合計	338	497	264	296
ハ ニ カ ム	391	418	390	350
S i C - D P F	221	220	194	176
Cd-DPF・大型ハニカム	370	346	331	299
セ ン サ ー	149	174	175	195
産 業 プ ロ セ ス	96	123	104	136
セラミックス合計	1,227	1,281	1,194	1,156
金 属	106	93	98	92
半導体製造装置セラミックス	187	182	205	185
電 子 部 品	195	144	137	131
双 信 電 機	54	54	45	47
エレクトロニクス合計	541	474	485	455
全 社 合 計	2,106	2,252	1,943	1,907

本資料は当社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績目標及び数値等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、需要動向などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績数値は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知置きください。

 **日本ガイシ株式会社**

〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56

IR窓口：財務部 開示グループ

Tel. (052) 872-7210 Fax. (052) 872-7160

E-mail: ir-office@ngk.co.jp

Website: <http://www.ngk.co.jp>